

データあり

令和7年10月15日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 茶谷・永田
TEL 782-2111
横浜市立金沢動物園と同時発表

インドサイが転出します

インドサイの「ブンタ」が繁殖を目的としたブリーディングローンにより転出しますので、下記のとおりお知らせします。今回の転出で東山動植物園が飼育するインドサイは2頭（オス1頭、メス1頭）になります。

記

1 転出するインドサイ

名 前：ブンタ

性 別：オス

年 齢：16歳（2009年8月15日 横浜市金沢動物園生まれ）

転 出 先：横浜市金沢動物園

2 転出予定日

令和7年11月17日（月）

※令和7年10月26日に輸送箱を設置し移動のトレーニングを開始します。トレーニング中はご覧いただけない場合があります。

※動物の体調等により移動を延期または中止する場合があります。

3 転出理由

公益社団法人日本動物園水族館協会における「インドサイ管理計画」に基づき、金沢動物園で飼育する「ナラヤニ」（メス、推定23歳）との間で繁殖を目指します。

4 取材について

動物搬出時には撮影ができませんのでご了承ください。

なお、写真等が必要な場合にはご相談ください。

■国内のインドサイ飼育頭数（2024 年末時点）

4 施設 8 頭（オス 4 頭、メス 4 頭）

■インドサイ（奇蹄目 サイ科）

学 名：*Rhinoceros unicornis*

英 名：Indian Rhinoceros

分 布：インド北東部、ネパール南部

形 態：体長3-4m、体高150-180cmで体重が1,500-3,000kgに達する。皮膚は灰色から暗灰色で、肩の後ろ、腰、大腿部、四肢の付け根にひだがあり、肩や臀部には瘤状の皮膚の隆起がある。角は1本で、最大60cm程になる。下顎には切歯が発達した牙があり、8cmほどになる。

生 態 等：水辺を好み、湿地帯や隣接する草原、森林に生息する。縄張り意識が強く、通常は単独で生活するが、水場などを複数のサイが共有することもある。行動圏内に数カ所の糞場をもち、糞は70cm以上に積みあがる。夜から朝に行動することが多く、水生植物や下草、木の葉、果実など様々な植物を食べる。日中は水中や泥場などで休息する。寿命は約40年で、性成熟は雄で6-9年、雌では3-6年以上かかる。1産1子で、妊娠期間は460-496日。夜から朝方に出産する事が多く、出生時の体重は44-90kgである

保 全：ワシントン条約附属書 I 表、IUCNレッドリスト：VU（危急種）

【写 真】※写真データが必要な場合はご連絡ください。



転出するインドサイ（ブンタ）：令和7年10月6日撮影